

**GM-800 の概要 2**

GM-800 の音源構成 2
シリアル GK とは ? 2

各部の名称とはたらき 3

フロント・パネル 3
リア・パネル（機器の接続） 4

準備する 6

ギター／ベースの準備 6
機器を接続する 6
電源を入れる 6
出力端子に接続する機器を選ぶ（OUTPUT SELECT） 7
ピックアップの設定をする（GK SETTING） 7
音量を調節する 9
チューナーを使う 9

演奏する 10

シーンを選ぶ 10
プレイ画面について 10

エディット編：パート 11

パート・エディットの基本操作 11
パートの ON / OFF を切り替える 11
パートのトーンを選ぶ（TONE SELECT） 11
パートの音量を調節する（TONE SELECT） 11
パートの音色を調節する（TONE MODIFY） 11
パートのエフェクトを変更する（MFX） 11
パートの弦ごとの設定を変更する（STRING） 12
他のパート設定をコピーする（PART COPY） 12

エディット編：シーン 13

シーン・パラメーターを設定する（SCENE EDIT） 13
コントロール・アサインを設定する（CONTROL ASSIGN） 13
機能を設定する（CONTROL FUNCTION） 13
機能を設定する（ASSIGN SETTING） 14
シーンを保存する（WRITE） 14

エディット編：システム 15

MENU の基本操作 15
[1] ～ [4] つまみに好みのパラメーターを割り当てる
（KNOB SETTING） 15
ディスプレイのコントラスト（明るさ）を調節する 15
シリアル GK 端子を使ってオーディオ信号を送受信する
（GK AUDIO） 16
工場出荷時の設定に戻す（ファクトリー・リセット） 16
オート・オフ機能を設定する 17

外部機器と接続する 18

パソコンと接続する（USB COMPUTER 端子） 18
専用ドライバーのインストール 18
オーディオ・インターフェースとして使う 18
GM-800 専用ソフトウェアを使う 18
USB メモリーを接続する（USB MEMORY 端子） 18
USB メモリーをフォーマットする（FORMAT USB MEMORY） 18
データを USB メモリーにバックアップする（BACKUP） 19
バックアップしたデータを復元する（RESTORE） 19
トーンをインポートする（IMPORT） 20
WAVE EXPANSION をインストールする（EXPANSION） 20

外部 MIDI 機器を接続する 22

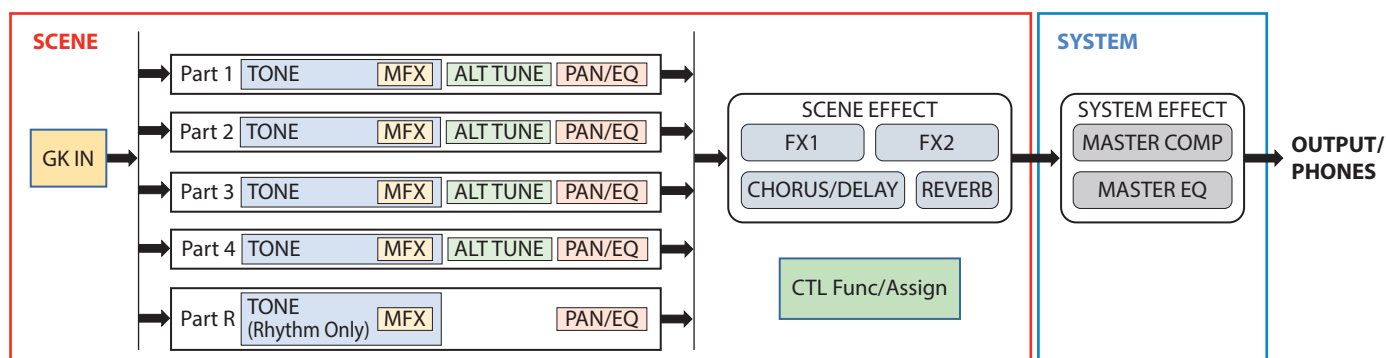
GM-800 からの操作 22
外部 MIDI 機器からの操作 22

主な仕様 23

GM-800 の概要

GM-800 は、シリアル GK 方式のディバイデッド・ピックアップ（GK-5/GK-5B、別売）に対応したギター・シンセサイザー音源です。

GM-800 の音源構成



シーン (SCENE)

すべてのパートの設定、GUITAR TO MIDI 設定、シーン・エフェクト (SCENE EFFECT) 設定、コントロール・アサイン (CONTROL ASSIGN) 設定をまとめてシーンとして保存します。

シーンは、パートごとの設定（トーン番号、パン、音量など）やパート共通の設定など、お気に入りの演奏状態をそのまままとめて記憶したものです。

演奏するときは、あらかじめシーンの設定を保存しておき、切り替えて演奏すると便利です。

パート (Part)

5つのパートに音色（トーン）を割り当ててパン（PAN）やEQなどを設定します。

1つのトーンを1つのパートに割り当てて鳴らします。

パートは5つあり、パート1～4はシンセサイザー音色、パートRはリズム音色を鳴らすことができます。

トーン (TONE)

パートに割り当てる音色をトーンと呼びます。

トーンでは、フィルター、エフェクト（MFX）などの設定をします。

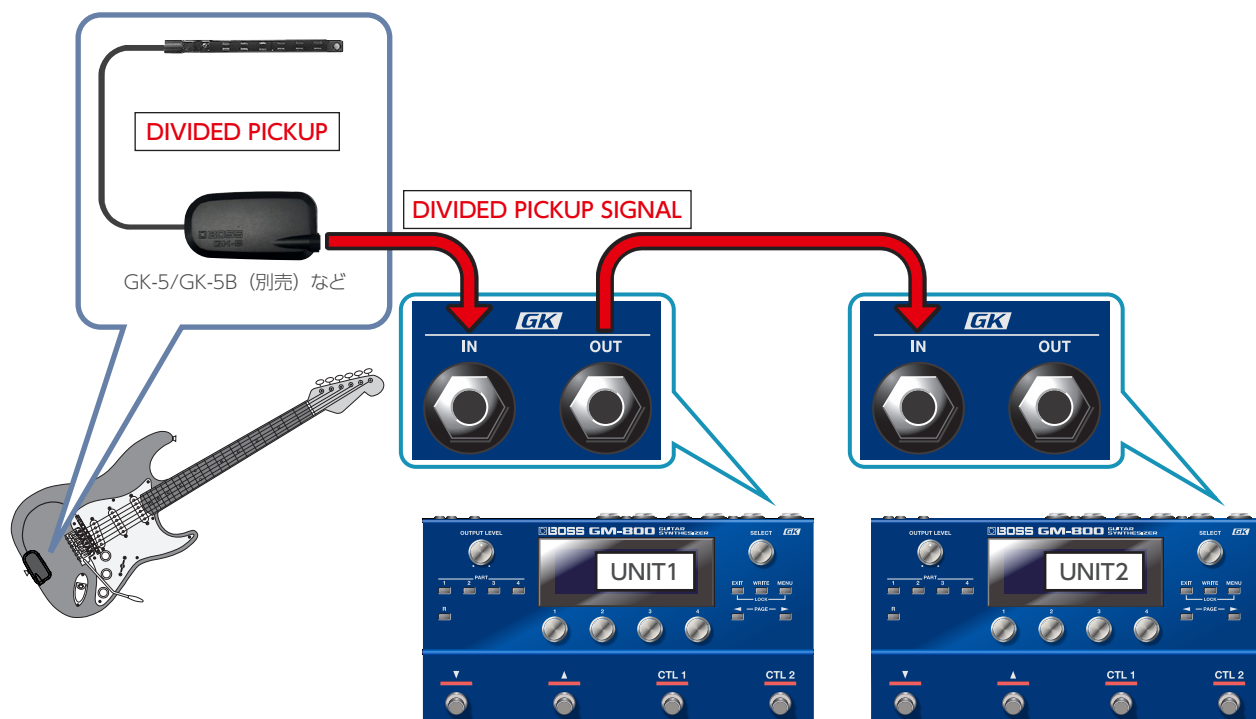
シリアル GK とは？

ディバイデッド・ピックアップの信号を対応機器と専用ケーブルで接続し、通信する技術です。

1台目のGK IN端子に入力されたディバイデッド・ピックアップの信号がGK OUT端子を経由して2台目のGK IN端子に送られます。

また、1台目で作ったサウンド（ステレオ出力）を2台目の機器に送ることができます。詳しくは、「シリアル GK 端子を使ってオーディオ信号を送受信する（GK AUDIO）」（P.16）をご覧ください。

【接続例】



各部の名称とはたらき

フロント・パネル



1 [OUTPUT LEVEL] つまみ

全体の音量を調節します。

2 PART [1] ~ [4]、[R] ボタン

パートの設定画面に切り替えます。

パートの設定画面がディスプレイに表示されている状態で押すと、パートの ON / OFF を切り替えられます。

3 ディスプレイ

GM-800 のさまざまな情報を表示します。

4 [1] ~ [4] つまみ、[SELECT] つまみ

画面に表示されたパラメーターの設定値を、選んだり変更したりします。

5 [EXIT] ボタン

前の画面に戻したり、操作を取り消したりするときに使用します。

6 [WRITE] ボタン

シーンの設定を保存するときやコピーするときを押します。

7 [MENU] ボタン

MENU 画面に切り替えます。

※ [EXIT] ボタンを押しながら [MENU] ボタンを押すと、KNOB LOCK 機能 (*) の ON / OFF を切り替えられます。
(*) ON に設定すると、プレイ画面でのつまみの操作が無効になります。

8 PAGE [◀] [▶] ボタン

ページを切り替えます。

9 [▲] [▼] スイッチ

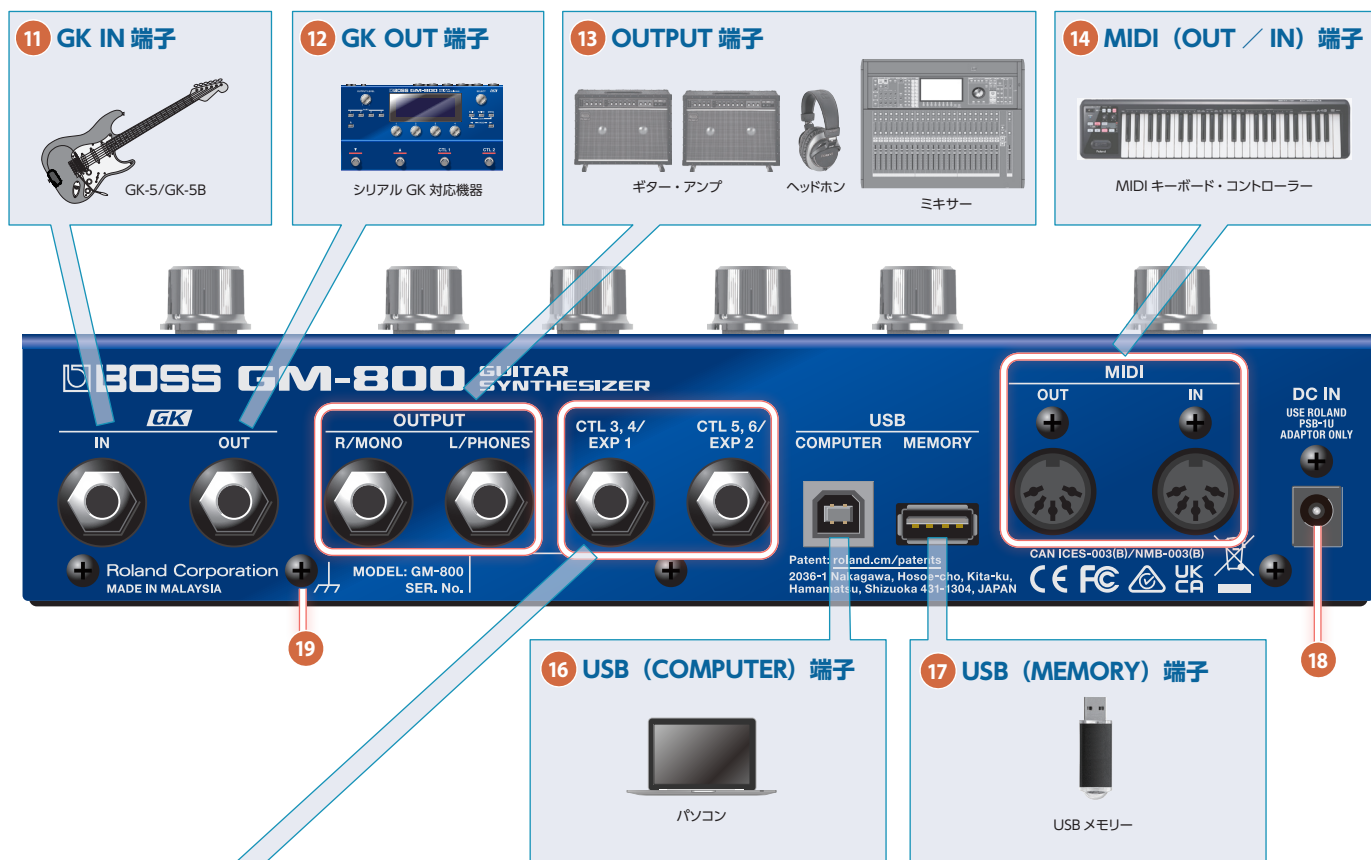
シーンを切り替えます。

10 [CTL1] [CTL2] スイッチ

シーンごとに設定した機能をコントロールします。

リア・パネル（機器の接続）

※ 他の機器と接続するときは、誤動作や故障を防ぐため、必ずすべての機器の音量を絞り、すべての機器の電源を切ってください。

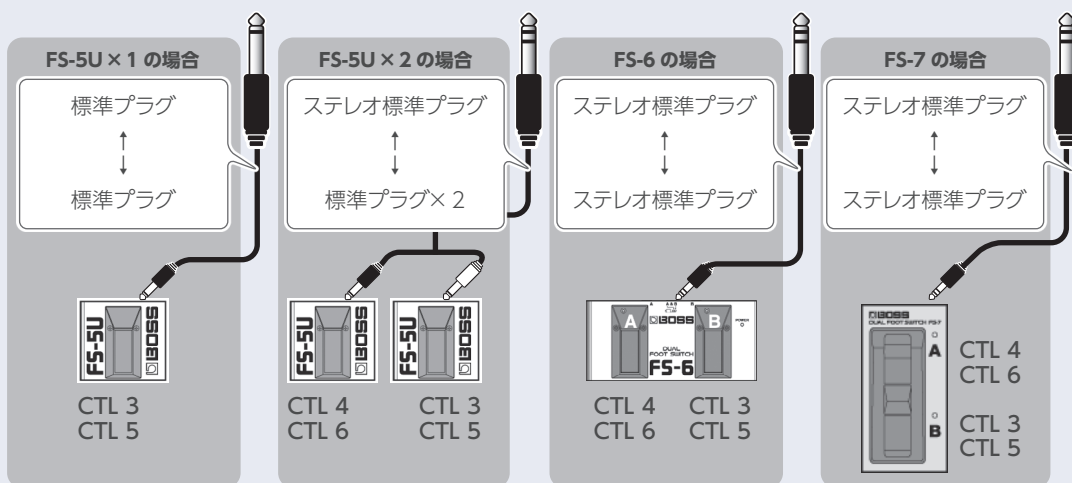


15 CTL3, 4/EXP 1、CTL5, 6/EXP 2 端子

EXP1、EXP2 端子として使う場合
エクスプレッション・ペダルを接続します。

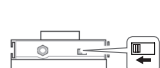
CTL 3, 4、CTL5, 6 端子として使う場合
フットスイッチを接続します。

※ エクスプレッション・ペダルは、必ず指定のもの（別売：EV-30、FV-500L、FV-500H、Roland EV-5）をお使いください。他社製品を接続すると、本機の故障の原因になる場合があります。

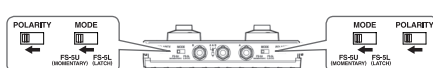


モード／ポラリティー・スイッチ

FS-5U



FS-6



FS-7



11 GK IN 端子

BOSS ディバイデッド・ピックアップ GK-5 / GK-5Bなどを装着した、ギターやベースを接続します。

※ 専用のシリアル GK ケーブル以外は、絶対に接続しないでください。

12 GK OUT 端子

GM-800 を複数台使用する場合や GK IN 端子を搭載した対応機器を使用する場合に接続します。

13 OUTPUT 端子

ギター・アンプ、PA システム（ライン・レベル）またはヘッドホン（別売）に接続します。

※ ヘッドホンは L/PHONES 端子に接続してください。

※ モノで出力するときは、R/MONO 端子だけに接続してください。

※ ヘッドホン使用時は、R/MONO 端子には何も接続しないでください。

※ GK IN 端子に入力されたノーマル・ピックアップの信号を OUTPUT 端子から出力することができます。詳しくは、『GM-800 パラメーター・ガイド』（Web）をご覧ください。

14 MIDI (OUT / IN) 端子

外部 MIDI 機器と接続して、MIDI メッセージを送受信します。

15 CTL3, 4/EXP1、CTL5, 6/EXP2 端子

エクスプレッション・ペダル（別売：EV-30、FV-500L、FV-500H、Roland EV-5）やフットスイッチ（別売：FS-5U、FS-6、FS-7）を接続して、さまざまな機能をコントロールすることが

できます。

➔ 設定方法については、「機能を設定する（CONTROL FUNCTION）」（P.13）をご覧ください。

16 USB (COMPUTER) 端子

市販の USB 2.0 ケーブルで、パソコンに接続します。

専用のエディター・ソフトを使ったり、USB MIDI と USB オーディオの情報をやりとりしたりすることができます。

※ パソコンに接続するには、USB ドライバーをインストールする必要があります。USB ドライバーは、BOSS のホームページからダウンロードしてください。詳しくは、ダウンロードしたファイルにある Readme.htm をお読みください。

17 USB (MEMORY) 端子

USB メモリーを接続します。本機の電源を切った状態で USB メモリーの抜き差しをしてください。

※ USB メモリーのアクセスランプが点滅している間と実行画面が表示されているときは、絶対に電源を切ったり、抜いたりしないでください。

18 DC IN 端子

付属の AC アダプターを接続します。

※ DC IN 端子は、電源スイッチも兼ねています。DC IN 端子にプラグを差し込むと電源がオンになります。プラグを抜くとオフになります。

19 機能接地端子

外部アースまたは大地に接地します。必要に応じて接続してください。

準備する

ギター／ベースの準備

- GM-800 を使用するには、BOSS GK-5 / GK-5B などの各弦独立した信号を出力できるディバイデッド・ピックアップ (GK ピックアップ) を装着したギター、またはベース・ギターが必要です。
- GK ピックアップの取り付けについては、GK ピックアップの取扱説明書をご覧ください。
- ネックのそり、フレットの摩耗による弦のビビリ、オクターブ調整のズレは、誤発音の原因になります。

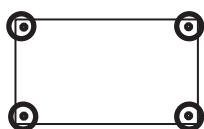
機器を接続する

→ 「リア・パネル (機器の接続)」 (P.4) をご覧ください。

ゴム足の取り付け

ゴム足 (付属) は、必要に応じて取り付けてください。

ゴム足は図の位置に貼り付けます。



※ ゴム足を取り付けないまま本機を使用すると、床に傷を付ける恐れがあります。

※ 本機を裏返すときは、破損を防ぐためボタンやつまみなどを保護してください。また、落下や転倒を引き起こさないよう取り扱いに注意してください。

電源を入れる

※ 電源を入れる／切るときは、音量を絞ってください。音量を絞っても電源を入れる／切るときに音がすることがありますが、故障ではありません。

※ 切るときは、逆の手順で電源を切ります。

1. **ギター・アンプなど、本機に接続する機器の音量を絞ります。**
2. **OUTPUT 端子に機器を接続します。**
3. **ギターなどを接続します。**
4. **付属の AC アダプターを本機の DC IN 端子に差し込みます。**
本機の電源が入ります。
5. **ギター・アンプなど、本機に接続した機器の電源を入れます。**

Auto Off 機能

本機は、演奏や操作をやめてから一定時間 (初期値: 20 分) が経過すると、省エネルギーのため自動的に電源が切れます。

- 自動的に電源が切れると、保存していないデータは失われます。残しておきたいデータはあらかじめ保存しておいてください。
- 自動的に電源が切れないようにするには、設定をオフにしてください。ただし設定をオフにすると、消費電力量の増加につながります。
- 自動的に切れた電源を再び入れるときは、本機の電源を入れ直してください。

※ オフ・モード (自動的に電源が切れた状態) の消費電力: 0.1W

→ 詳しくは、「オート・オフ機能を設定する」 (P.17) をご覧ください。

出力端子に接続する機器を選ぶ (OUTPUT SELECT)

1. [MENU] ボタンを押します。
2. PAGE [◀] [▶] ボタンを押して、「IN/OUT SETTING」を表示させます。



3. [4] つまみを押します。
IN/OUT SETTING 画面が表示されます。



4. [SELECT] つまみを回して、「OUTPUT SELECT」にカーソルを合わせます。



5. [1] つまみを回して、接続機器を選びます。

OUTPUT SELECT	説明
LINE/PHONES	ヘッドホンを使う場合や、GM-800をキーボード用アンプ、ミキサー、デジタル・レコーダーなどに接続する場合の設定です。
GUITAR AMP	ギター・アンプのギター用入力に接続する場合の設定です。

※ ベース・アンプでお使いの場合は、LINE/PHONES に設定してください。

ピックアップの設定をする (GK SETTING)

GM-800 を常に最適な状態で演奏するために、ディバイデッド・ピックアップの設定をします。GM-800 はこの設定 (GK SETTING) を 20 種類保存することができます。

ここでは、ピックアップの設定を 01:GKSET 1 に保存する操作を例にとって説明します。

メモ

GK SETTING は電源を切っても保存されます。演奏のたびに設定し直す必要はありません。

1. [MENU] ボタンを押します。
2. PAGE [◀] [▶] ボタンを押して、「GK SETTING」を表示させます。



3. [3] つまみを押します。

GK SETTINGS 画面が表示されます。

GK SETTINGS			
GK SET			NAME
01:GKSET 1			
GK TYPE	GK PU POS	PU DIRECTION	S1/S2 POS
GK-S	----	NORMAL	----
GAIN	TU STYLE	NORM PU GAIN	TRACKING
----	NORMAL	----	STABLE

4. [SELECT] つまみを回して、1 行目にカーソルを合わせます。

5. [1] つまみを回して、01:GKSET 1 を選びます。

ピックアップの設定が 01:GKSET 1 に保存されます。

メモ

ピックアップの設定は、手順 5 で選んだ番号に自動で保存されます。

ピックアップ・タイプを選ぶ

お使いのギター（ベース）に装着されているピックアップを選びます。

6. [SELECT] つまみを回して、2 行目にカーソルを合わせます。

GK SETTINGS			
GK SET			NAME
01:GKSET 1			
GK TYPE	GK PU POS	PU DIRECTION	S1/S2 POS
GK-S	----	NORMAL	----
GAIN	TU STYLE	NORM PU GAIN	TRACKING
----	NORMAL	----	STABLE

7. [1] つまみを回して、ピックアップ・タイプを選びます。

GK TYPE	説明
GK-5	BOSS GK-5 を使うときに選びます。
GK5KIT-6	BOSS GK5-KIT (6 弦) が内蔵されたギターを使うときに選びます。
GK5KIT-7	BOSS GK5-KIT (7 弦) が内蔵されたギターを使うときに選びます。
GK-3 *1	Roland GK-3 を使うときに選びます。
GK-2A *1	Roland GK-2A、またはディバイデッド・ピックアップ (13pin) が内蔵されたギター (市販品) を使うときに選びます。
GC-1 *1	Roland V-Guitar GC-1 を使うときに選びます。
PIEZO *1	Piezo・ピックアップ (フラット特性) が搭載されたギターを使うときに選びます。
PIEZO F *1	Piezo・ピックアップ (Fishman) が搭載されたギターを使うときに選びます。
PIEZO G *1	Piezo・ピックアップ (Graph Tech) が搭載されたギターを使うときに選びます。
PIEZO L *1	Piezo・ピックアップ (L.R. Baggs) が搭載されたギターを使うときに選びます。
PIEZO R *1	Piezo・ピックアップ (RMC) が搭載されたギターを使うときに選びます。
GK-5B	BOSS GK-5B を使うときに選びます。
GK5KIT-B	BOSS GK5-KIT が内蔵されたベースを使うときに選びます。
GK-3B *1	Roland GK-3B を使うときに選びます。
GK-2B *1	Roland GK-2B を使うとき、またはディバイデッド・ピックアップ (13pin) が内蔵されたベース (市販品) を使うときに選びます。
PIEZO(B) *1	Piezo・ピックアップ (フラット特性) が搭載されたベースを使うときに選びます。
PIEZO G(B) *1	Piezo・ピックアップ (Graph Tech) が搭載されたベースを使うときに選びます。
PIEZO R(B) *1	Piezo・ピックアップ (RMC) が搭載されたベースを使うときに選びます。

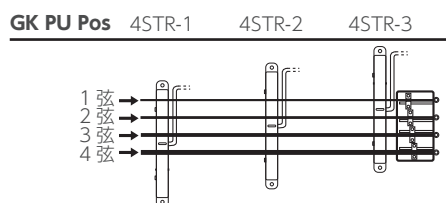
*1 GKC-AD (別売) と組み合わせてお使いください。

ピックアップの配置を設定する (ベースのみ)

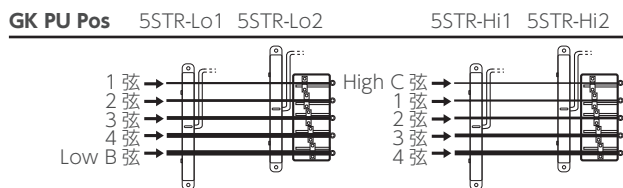
お使いのベースに取り付けたディバイデッド・ピックアップの配置に応じて、GK PU Pos を設定します。

8. [2] つまみを回して、GK PU Pos を設定します。

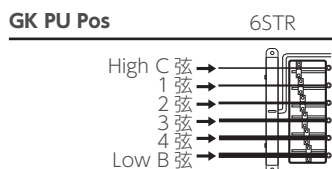
4 弦ベースの場合



5 弦ベースの場合



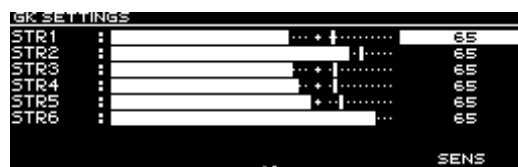
6 弦ベースの場合



ピックアップの感度を設定する

各弦とディバイデッド・ピックアップの距離が異なると、音量が変わります。ピックアップの感度を設定し、この音量差を補正します。

9. PAGE [◀] [▶] ボタンを押して、SENS 画面を表示させます。



10. [SELECT] つまみを回して、設定する弦のカーソルを移動します。

11. [4] つまみを回して、「SENS」の設定値を調節します。

実際の演奏で一番強く弾いたときの感覚で弦を弾き、メーターが振り切れない位置になるように調節します。レベル・メーターが振り切れる場合はレベル・オーバーです。SENS の設定値を下げてください。

※ お使いのギター／ベースによっては、感度を低くしても、レベル・メーターが振り切れてしまう場合があります。このようなときには、ディバイデッド・ピックアップと弦との間隔を、規定よりもやや広めになるように調節してください。

12. 全弦の音量バランスを確認します。

全弦を通常の強さで弾き、特に大きい音が鳴る弦があったらその弦の SENS を下げ、各弦間の音量差が少なくなるように調節します。

※ 画面上のメーターの目印位置を目安にしてください。



13. [EXIT] ボタンを数回押して、プレイ画面に戻ります。

これらの設定は、ディバイデッド・ピックアップを新たにギターやベースに取り付けたときや、ディバイデッド・ピックアップの高さを変更したときなどに必要です。

詳しくは、『GM-800 パラメーター・ガイド』(Web) をご覧ください。

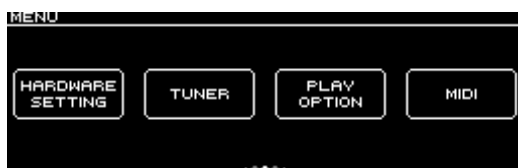
音量を調節する

[OUTPUT LEVEL] つまみで、全体の音量を調節します。

チューナーを使う

GM-800 のチューナー機能は、1 弦ごとにチューニングするシングル・モード (SINGLE MODE)、全弦一度にピッチを判定することができるマルチ・モード (MULTI MODE)、トゥルー・テンペラメントに対応したギター/ベース用の TT モード (TT MODE) があります。

1. [MENU] ボタンを押します。
2. PAGE [◀] [▶] ボタンを押して、「TUNER」を表示させます。

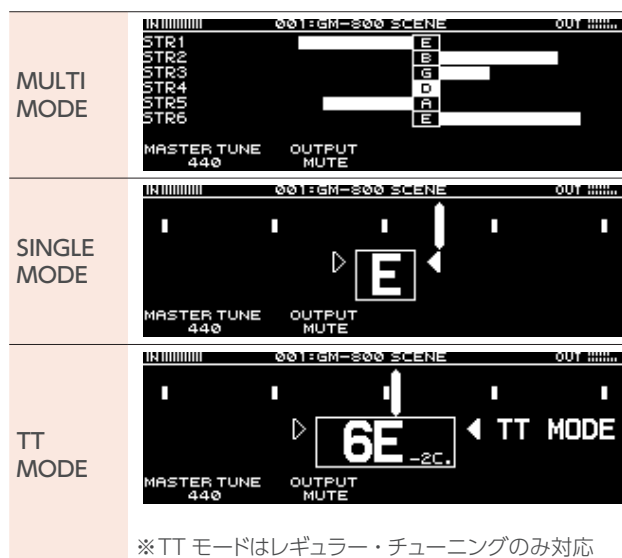


3. [2] つまみを押します。

チューナー画面が表示されます。



チューナー画面でPAGE [◀] [▶] ボタンを押すと、モードを切り替えることができます。



4. [EXIT] ボタンを数回押して、プレイ画面に戻ります。

チューナーの各種設定

ディスプレイ下の [1]、[2] つまみでチューナーの設定をします。

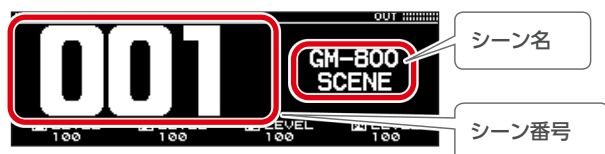
パラメーター	設定値	説明
[1] MASTER TUNE	435 ~ 445 Hz	基準ピッチを設定します。
[2] OUTPUT	MUTE	チューニング中に音を出力しません。
	BYPASS	チューニング中に GM-800 に入力されたギターの音をそのまま出力します。
	THRU	現在のシーンの音を出力しながらチューニングができます。

演奏する

シーンを選ぶ

すべてのパートの設定、GUITAR TO MIDI 設定、シーン・エフェクト設定、コントロール・アサイン設定をまとめたものを「シーン」と呼びます。

1. [▼] スイッチ、または [▲] スイッチで、シーンを選びます。



メモ

[SELECT] つまみを回してシーンを切り替えることもできます。

プレイ画面について

電源投入時に表示される画面を「プレイ画面」と呼びます。
プレイ画面には次の4種類があり、PAGE [◀] [▶] ボタンで表示を切り替えることができます。

シーン番号を大きく表示



シーン名を大きく表示



各パートで選んでいるトーンを表示

PART	TOPE NAME	LEVEL
1	0001: Acoustic Piano	100
2	0101: Reso Saw Bass	100
3	0201: Funky Reso Lead	100
4	0301: Magic Hand Pad	100
LEVEL	LEVEL	LEVEL
100	100	100

本機のスイッチ等にアサインされている機能を表示

SCENE	SCENE	CTL 1	CTL 2
SCENE	SCENE	OCT. UP/DOWN	HOLD
LEVEL	LEVEL	LEVEL	LEVEL
100	100	100	100

プレイ画面のアイコン表示



表示	説明
[IN] []	入力レベルを表示します。
[OUT] []	出力レベルを表示します。
[BPM] 120	BPM を表示します。
[PAGE] [◀] [▶]	PAGE [◀] [▶] ボタンでどのページに移動したか表示します (エディット画面)。

メモ

プレイ画面が表示されているときは、[1] ~ [4] つまみを操作して調節できるパラメーターを変更することができます。

詳しくは、「[1] ~ [4] つまみに好みのパラメーターを割り当てる (KNOB SETTING)」(P.15) をご覧ください。

エディット編：パート

パート・エディットの基本操作

パート・エディット画面では、パートごとにトーンを選んだり、微調整などのエディットをしたりすることができます。

ここでは、PART 1 をエディットする場合の操作を説明します。

パートの ON / OFF を切り替える

1. PART [1] ボタンを押します。

パート 1 のパート・エディット画面が表示されます。



2. 再度、PART [1] ボタンを押すと、パートの ON / OFF を切り替えることができます。

メモ

パート 1 の音だけを聴くには、あらかじめ他のパートを OFF にしてください。

パートのトーンを選ぶ (TONE SELECT)

1. パート・エディット画面が表示されている状態で、[SELECT] つまみを回し、「TONE SELECT」にカーソルを合わせます。



2. [2] つまみを回し、トーンを選びます。

※ つまみを押しながら回すと、値を大きく変えることができます。

ブラウズ機能を使う

1. 「TONE SELECT」にカーソルがある状態で [1] つまみを押します。

ブラウズ画面が表示されます。



2. [1] or [2] つまみを回し、カテゴリーを変更します。

3. [3] or [4] つまみを回し、トーンを変更します。

4. [EXIT] ボタンを押し、パート・エディット画面に戻ります。

パートの音量を調節する (TONE SELECT)

1. パート・エディット画面が表示されている状態で、[SELECT] つまみを回し、「TONE SELECT」にカーソルを合わせます。



2. [1] ~ [4] つまみを回し、画面下部に表示されているパラメーターを調節します。

PAGE [◀] [▶] ボタンでエディットするパラメーターを切り替えます。現在のページが画面下部中央に表示されます。

※ つまみを押しながら回すと、値を大きく変えることができます。

※ 項目によって、パラメーターの数やページ数が異なります。

パートの音色を調節する (TONE MODIFY)

1. パート・エディット画面が表示されている状態で、[SELECT] つまみを回し、「TONE MODIFY」にカーソルを合わせます。



2. [1] ~ [4] つまみを回し、画面下部に表示されているパラメーターを調節します。

必要に応じて PAGE [◀] [▶] ボタンで設定項目のページを切り替えてください。

※ つまみを押しながら回すと、値を大きく変えることができます。

※ 項目によって、パラメーターの数やページ数が異なります。

パートのエフェクトを変更する (MFX)

1. パート・エディット画面が表示されている状態で、[SELECT] つまみを回し、「MFX」にカーソルを合わせます。



2. [1] ~ [4] つまみを回し、画面下部に表示されているパラメーターを調節します。

必要に応じて PAGE [◀] [▶] ボタンで設定項目のページを切り替えてください。

※ つまみを押しながら回すと、値を大きく変えることができます。

※ 項目によって、パラメーターの数やページ数が異なります。

パートの弦ごとの設定を変更する (STRING)

1. パート・エディット画面が表示されている状態で、**[SELECT]** つまみを回し、**[STRING]** にカーソルを合わせます。



2. **[1] ~ [4]** つまみを回し、画面下部に表示されているパラメーターを調節します。

必要に応じて **PAGE** **[◀]** **[▶]** ボタンで設定項目のページを切り替えてください。

- ※ つまみを押しながら回すと、値を大きく変えることができます。
- ※ 項目によって、パラメーターの数やページ数が異なります。

他のパート設定をコピーする (PART COPY)

他のシーンのパート設定をコピーする機能です。
ここでは、PART 1 にコピーする場合の操作を説明します。

1. **PART [1]** ボタンを押します。

パート 1 のパート・エディット画面が表示されます。



2. **PART [1]** ボタンを長押しします。

PART COPY 画面が表示されます。



3. **[1] [2]** つまみを回してシーンを変更し、**[3] [4]** つまみを回してコピー元のパートを選びます。
4. コピー元のパートが決定したら、**[4]** つまみを押しします。コピーしない場合は、**[3]** つまみを押しします。

パート 1 にコピー元のパート設定がコピーされます。

- ※ PART R にはコピー機能はありません。

エディット編：シーン

シーン・パラメーターを設定する (SCENE EDIT)

パート以外のシーン・パラメーターを設定します。

各パラメーターについて、詳しくは、『GM-800 パラメーター・ガイド』(Web) をご覧ください。

1. [MENU] ボタンを押します。

MENU 画面が表示されます。



2. [1] つまみを押します。

SCENE EDIT 画面が表示されます。



3. [SELECT] つまみを回して、設定したい項目にカーソルを合わせます。

4. [1] ~ [4] つまみで、画面下部に表示されているパラメーターを調節します。

PAGE [◀] [▶] ボタンでエディットするパラメーターを切り替えます。現在のページが画面下部中央に表示されます。

※ つまみを押しながら回すと、値を大きく変えることができます。

※ 項目によって、パラメーターの数やページ数が異なります。

コントロール・アサインを設定する (CONTROL ASSIGN)

トップ・パネルの [▼]、[▲]、[CTL1]、[CTL2] スイッチと、リア・パネルの CTL3,4/EXP1 端子、CTL5,6/EXP2 端子に接続するエクスプレッション・ペダルやフットスイッチには、さまざまな機能を割り当てることができます。

詳しくは、『GM-800 パラメーター・ガイド』(Web) をご覧ください。

※ 割り当てた機能により、トップ・パネルの [▼]、[▲]、[CTL1]、[CTL2] スイッチの LED が点灯・点滅します。

機能を設定する (CONTROL FUNCTION)

1. [MENU] ボタンを押します。

MENU 画面が表示されます。



2. [2] つまみを押します。

CONTROL/ASSIGN 画面が表示されます。



3. [1] つまみを押します。

CONTROL FUNCTION 画面が表示されます。

CONTROL/ASSIGN>CONTROL FUNCTION			
	FUNCTION	MODE	PREF
DOWN	SCENE -1	----	SCENE
UP	SCENE +1	----	SCENE
CTL1	PART OCTAVE UP/DOWN	TOGGLE	SCENE
CTL2	PART HOLD	MOMENT	SCENE
CTL3	OFF	----	SCENE

4. [SELECT] つまみを回して、設定項目を選びます。

選択項目が縦に移動します。

5. [1] ~ [4] つまみを回して、各スイッチの選択項目の設定値を変更します。

必要に応じて PAGE [◀] [▶] ボタンで設定項目のページを切り替えてください。

選んだ機能によっては、パート別の設定項目が表示されます。各パートの ON / OFF や、効果の変化幅などを設定します。

※ フットスイッチ、エクスプレッション・ペダルの機能は、シーンごとに設定する必要がありますが、PREF (PREFERENCE) を SYSTEM に設定すると、すべてのシーンで共通の機能として使うことができます。

※ PART OCTAVE UP/DOWN など、機能によっては次の演奏まで効果が現れないものがあります。

機能を設定する (ASSIGN SETTING)

1. [MENU] ボタンを押します。

MENU 画面が表示されます。



2. [2] つまみを押します。

CONTROL/ASSIGN 画面が表示されます。



3. [2] つまみを押します。

ASSIGN SETTING 画面が表示されます。

CONTROL/ASSIGN>ASSIGN MATRIX				
NUM	SW	TARGET		
			MIN	MAX
1	☐	P1TONE SEL PART SW	OFF	ON
2	☐	P1TONE SEL PART SW	OFF	ON
3	☐	P1TONE SEL PART SW	OFF	ON
4	☐	P1TONE SEL PART SW	OFF	ON
5	☐	P1TONE SEL PART SW	OFF	ON

4. [SELECT] つまみを回して、設定項目を選びます。

選択項目が縦に移動します。

5. [SELECT] つまみを押して、[SW] を ON にします。

6. [1] ~ [4] つまみを回して、パラメーターを設定します。

必要に応じて PAGE [◀] [▶] ボタンで設定項目のページを切り替えてください。

SOURCE で、操作するペダルや MIDI メッセージなどを設定します。

※ TARGET が表示されているときに [1] [2] つまみを押すと、パラメーターがリスト表示されます。

CONTROL/ASSIGN>ASSIGN MATRIX	
ASSIGN 1	TARGET
CATEGORY	
P1TONE SEL	PART SW
P2TONE SEL	TONE NUM
P3TONE SEL	LEVEL
P4TONE SEL	PAN
P5TONE SEL	C/D SEND
P6TONE MOD	REV SEND

シーンを保存する (WRITE)

作成したシーンを保存したい場合は、以下の手順でユーザー・シーンに保存してください。

シーンを保存しないと、電源を切ったりシーンを切り替えたりしたときに、エディットした内容が失われます。

※ シーンには以下の設定が保存されます。

- すべてのパートの設定
- SCENE EDIT パラメーター
- CONTROL ASSIGN パラメーター

1. [WRITE] ボタンを押します。



2. [1] つまみを押して [WRITE] (SCENE WRITE) を選びます。



3. [1] つまみで、保存先のシーン番号を選びます。

[2] ~ [4] つまみと [SELECT] つまみで、名前を変更することができます。

名前を付けるには？

[SELECT] つまみでカーソルを移動して、[4] つまみで文字を変更することで、シーン名を変更することができます。

操作子	動作
[2] つまみを回す	文字種選択
[2] つまみを押す	1 文字削除 (デリート)
[3] つまみを回す	小文字・大文字
[3] つまみを押す	1 文字挿入 (インサート)
[4] つまみを回す	文字の変更
[SELECT] つまみを回す	カーソルの移動

4. もう一度 [WRITE] ボタンを押します。

シーンが書き込まれます。

エディット編：システム

MENU の基本操作

GM-800 全体で共通の設定（システム・パラメーター）をします。

※ 各パラメーターについて、詳しくは『GM-800 パラメーター・ガイド』（Web）をご覧ください。

1. [MENU] ボタンを押します。



※ PAGE [◀] [▶] ボタンで、さらに項目を表示することができます。



2. [1] ～ [4] つまみを押して、設定したい項目を選びます。

サブ・メニューが表示されます。

（画面の例は、MIDI のサブ・メニューです。）



3. さらに [1] ～ [4] つまみを押して、設定したい項目を選びます。

4. [1] ～ [4] つまみや [SELECT] つまみで、パラメーターの選択や設定値の変更をします。

※ つまみを押しながら回すと、値を大きく変えることができます。

※ パラメーターの選択方法や、設定値の変更方法は、項目ごとに異なります。詳しくは『GM-800 パラメーター・ガイド』（Web）をご覧ください。

[1] ～ [4] つまみに好みのパラメーターを割り当てる (KNOB SETTING)

プレイ画面が表示されているときに [1] ～ [4] つまみで操作するパラメーターを割り当てます。

1. [MENU] → [HARDWARE SETTING] → [KNOB SETTING] を選びます。



2. [1] ～ [4] つまみで、各つまみに割り当てるパラメーターを設定します。



※ [1] ～ [4] つまみを押すと、パラメーターがリスト表示されます。



3. [EXIT] ボタンを数回押して、プレイ画面に戻ります。

ディスプレイのコントラスト（明るさ）を調節する

ディスプレイの明るさを調節することができます。

1. [MENU] → [HARDWARE SETTING] → [OTHER] を選びます。



2. [1] つまみで、コントラストを調節します。



シリアル GK 端子を使ってオーディオ信号を送受信する（GK AUDIO）

GM-800 からの出力サウンド（ステレオ出力）をもう一台の GM-800 などのシリアル GK 機器に送ったり、別のシリアル GK 機器から送られてきたオーディオ信号と本機のサウンドをミックスしたりすることができます。

1. [MENU] → [IN/OUT SETTING] → [GK AUDIO] を選びます。



2. [1] ～ [3] つまみを回して、パラメーターを設定します。

項目	設定値	説明
AUDIO MODE	GK AUDIO の信号の流れを選びます。	
	OFF	GK AUDIO を使用しません。
	MIX	本機の GK IN 端子に接続したシリアル GK 機器のオーディオ信号と、GM-800（本機）のステレオ出力をミックスします。ミックスしたオーディオ信号は、本機の GK OUT 端子に接続したシリアル GK 機器へ送ります。
	OUT	GM-800（本機）のステレオ出力を GK OUT に接続したシリアル GK 機器へ送ります。
	THRU	本機の GK IN 端子に接続したシリアル GK 機器のオーディオ信号を、本機の GK OUT 端子に接続したシリアル GK 機器へ送ります。
MIX LEVEL	0 ～ 200	本機の GK IN 端子に入力されたオーディオ信号の入力レベルを調節します。
OUT LEVEL	0 ～ 200	本機の GK OUT 端子から出力されるオーディオ信号の出力レベルを調節します。

※ シーンごとに設定を変えることもできます。詳しくは『GM-800 パラメーター・ガイド』（Web）をご覧ください。

工場出荷時の設定に戻す（ファクトリー・リセット）

GM-800 の設定を工場出荷時の設定に戻すことを「ファクトリー・リセット」といいます。

すべての設定を工場出荷時の設定に戻すことができますが、工場出荷時の設定に戻したい項目を指定することもできます。

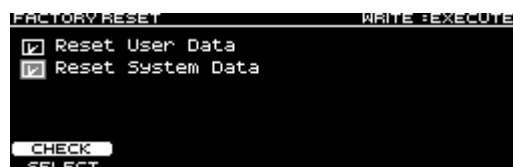
※ 「ファクトリー・リセット」を実行すると、お客様が設定した設定は失われます。

必要なデータは専用ソフトウェアでパソコンなどに保存するか、USB メモリーを使用してバックアップを保存してください。

1. [MENU] → [FACTORY RESET] を選びます。



2. [1] つまみを回してファクトリー・リセットする項目を選び、[1] つまみを押してチェック・ボックスにチェックを入れます。



項目	説明
Reset User Data	シーン、インポートしたトーンが初期化されます。
Reset System Data	システム・パラメーターが初期化されます。
Remove License (※ 1)	ユーザー・ライセンスと WAVE EXPANSION を初期化します。ユーザー・ライセンスを初期化すると、現在と異なるユーザー・ライセンスでダウンロードした SOUND PACK や WAVE EXPANSION をインポート／インストールすることができます。この操作を実行すると、インストールした WAVE EXPANSION は削除されます。

※ 1 SOUND PACK や WAVE EXPANSION をインポート／インストールしている場合に表示されます。

3. [WRITE] ボタンを押します。



ファクトリー・リセットを実行するときは、[4] つまみを押します。ファクトリー・リセットをやめるときは、[3] つまみを押します。ファクトリー・リセットが完了すると、「Completed」と表示されます。

※ 「Executing…」などと表示されて処理が継続しているときは、絶対に電源を切ったり、USB メモリーを抜いたりしないでください。

4. GM-800 の電源を入れ直します。

オート・オフ機能を設定する

本機は、演奏や操作をやめてから一定時間（初期値：20 分）が経過すると、省エネルギーのため自動的に電源が切れます。

- 自動的に電源が切れると、保存していないデータは失われます。残しておきたいデータはあらかじめ保存しておいてください。
- 自動的に電源が切れないようにするには、設定を OFF にしてください。ただし設定をオフにすると、消費電力量の増加につながります。
- 自動的に切れた電源を再び入れるときは、本機の電源を入れ直してください。

1. [MENU] → [HARDWARE SETTING] → [AUTO OFF] を選びます。



2. [1] ～ [3] つまみを押して、AUTO OFF 機能を設定します。



設定値	説明
20MIN	演奏や操作をやめてから 20 分経過すると自動的に電源が切れます。 ※工場出荷時の設定です。
10HOURS	演奏や操作をやめてから 10 時間経過すると自動的に電源が切れます。
OFF	自動で電源が切れません。

[20MIN] 以外を選ぶと、確認画面が表示されます。



3. [4] つまみを押して、[OK] を選びます。

メモ

AUTO OFF 機能を「20MIN」「10HOURS」のいずれかに設定していると、電源が切れる 5 分前から、電源が切れるまでの時間が分単位で表示されます。

残り 1 分を切ると、カウントダウンが始まります。操作や演奏をすると元の画面に戻ります。

外部機器と接続する

パソコンと接続する (USB COMPUTER 端子)

GM-800 を USB 経由でパソコンと接続すると、以下のことができます。

- パソコンとの間でデジタル・オーディオ信号を送受信
- 専用ソフトウェアを使って、パソコン上でシーンの編集や管理
- 専用 Web サイトからシーンをダウンロード

専用ドライバのインストール

GM-800 をお使いになるためには、パソコンで以下の URL からドライバをダウンロードして、インストールする必要があります。インストールについて詳しくは、ボス・サポート・ページをご覧ください。

→ <https://www.boss.info/jp/support/>

オーディオ・インターフェースとして使う

GM-800 の音をパソコンに録音したり、パソコンの音を GM-800 の OUTPUT 端子から出力したりすることができます。

- ※ USB 接続時のオーディオ信号の流れと設定方法について、詳しくは、『GM-800 パラメーター・ガイド』(Web) をご覧ください。
- ※ 各ソフトウェアの入力元の切り替えかたは、お使いのソフトウェアの取扱説明書をご覧ください。

GM-800 専用ソフトウェアを使う

専用ソフトウェアは、ボスのホームページからダウンロードしてください。使いかたの詳細については、ダウンロードしたファイルにある Readme.htm をご覧ください。

→ <https://www.boss.info/jp/support/>

専用ソフトウェアでは以下のことができます。

- 専用の Web サイトから、シーンを簡単に本機にダウンロードできます。
- シーンの設定を編集できます。
- シーンにシーン名を付けることができます。
- シーンの順番を並び替えたり、入れ替えたりすることができます。
- シーンと本機の設定をバックアップしたり、バックアップした設定に戻したりすることができます。

USB メモリーを接続する (USB MEMORY 端子)

USB メモリーを USB MEMORY 端子に接続します。

※ 市販の USB メモリーをお使いください。ただし、市販されている USB メモリーすべての動作を保証するものではありません。

USB メモリーをフォーマットする (FORMAT USB MEMORY)

初めて USB メモリーを使うときは、必ず本機で USB メモリーを初期化してください。

注意

大切なデータが USB メモリーに保存されているとき、この操作をするとデータがすべて失われてしまいますのでご注意ください。

1. [MENU] → [USB MEMORY] を選びます。



2. PAGE [◀] [▶] ボタンを押して、[FORMAT] を表示させます。



3. [1] つまみを押します。

確認画面が表示されます。



フォーマットを実行するときは、[4] つまみを押します。

キャンセルするときは、[3] つまみを押します。

フォーマットが完了すると、「Completed」と表示されます。

※ 「Executing…」などと表示されて処理が継続しているときは、絶対に電源を切ったり、USB メモリーを抜いたりしないでください。

データを USB メモリーにバックアップする (BACKUP)

ユーザー・データを USB メモリーにバックアップします。

バックアップされるデータ

- シーンの全データ
- インポートしたトーン・データ
- システム設定 (システム・エフェクトを含む)

1. [MENU] → [USB MEMORY] を選びます。



2. PAGE [◀] [▶] ボタンを押して、[BACKUP] を表示させます。



3. [1] つまみを押します。

BACKUP 画面が表示されます。

[2] ~ [4] つまみと、[SELECT] つまみで、名前を変更することができます。



名前を付けるには？

[SELECT] つまみでカーソルを移動して、[4] つまみで文字を変更することで、ファイル名を変更することができます。

操作子	動作
[2] つまみを回す	文字種選択
[2] つまみを押す	1 文字削除 (デリート)
[3] つまみを回す	小文字・大文字
[3] つまみを押す	1 文字挿入 (インサート)
[4] つまみを回す	文字の変更
[SELECT] つまみを回す	カーソルの移動

4. ファイル名が決まったら、[WRITE] ボタンを押します。

確認画面が表示されます。



実行するときは、[4] つまみを押します。

キャンセルするときは、[3] つまみを押します。

バックアップが完了すると、「Completed」と表示されます。
同じ名前のファイルがあるときは、確認画面が表示されます。
(FILE EXISTS.)

※「Executing…」など表示されて処理が継続しているときは、絶対に電源を切ったり、USB メモリーを抜いたりしないでください。

バックアップしたデータを復元する (RESTORE)

USB メモリーにバックアップしたユーザー・データを GM-800 に戻します。これを「リストア」と呼びます。

注意

リストアを実行すると、すべてのユーザー・データは書き換えられます。

本機に大切なデータが保存されているときは、リストアをする前に、別の名前を付けて USB メモリーにバックアップしてください。

1. [MENU] → [USB MEMORY] を選びます。

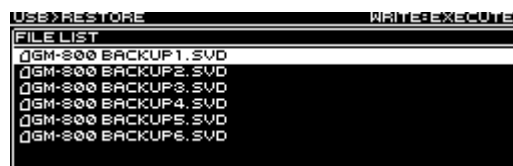


2. PAGE [◀] [▶] ボタンを押して、[RESTORE] を表示させます。



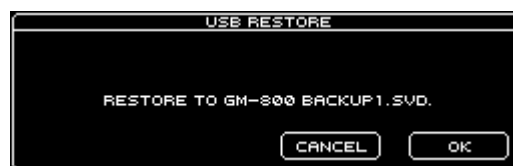
3. [2] つまみを押します。

RESTORE 画面が表示されます。



4. [1] つまみを回してリストアするファイルを選びます。

5. [WRITE] ボタンを押します。



実行するときは、[4] つまみを押します。

キャンセルするときは、[3] つまみを押します。

リストアが完了すると、「Completed」と表示されます。

※「Executing…」など表示されて処理が継続しているときは、絶対に電源を切ったり、USB メモリーを抜いたりしないでください。

トーンをインポートする (IMPORT)

ダウンロードしたトーンや他機種でエクスポートしたトーンを、追加音色として GM-800 にインポートすることができます。

ここでは、他機種のエクスポート機能などを使って用意した SVZ ファイルのインポート方法について説明します。

※ ダウンロードした SOUND PACK をインポートするときは、SDZ ファイルを使います。

1. インポートしたいトーンの SVZ ファイル (または SDZ ファイル) を USB メモリーの ROLAND/ SOUND フォルダーに保存して、GM-800 に接続します。

※ USB メモリーを初めて使うときは、GM-800 でフォーマットしてください (P.18)。

2. [MENU] → [USB MEMORY] を選びます。



3. PAGE [◀] [▶] ボタンを押して、[IMPORT TONE] を表示させます。



4. [3] つまみを押します。

インポートするファイルの選択画面が表示されます。



5. [1] つまみを回してリストアップするファイルを選びます。

6. [WRITE] ボタンを押します。

インポートするトーンの選択画面が表示されます。



7. [1] [2] つまみを回して、インポート先 (TARGET) を選び、[1] [2] つまみを押して決定します。

8. [3] [4] つまみを回して、インポートするトーン (IMPORT TONE) を選び、[3] [4] つまみを押して決定します。

※ 複数のトーンをインポートするときは手順 7、8 を繰り返します。

※ インポート先に選んだトーンは、上書きされます。ご注意ください。

※ 「INIT TONE」という名前のトーンがある場合は、インポート先のトーンとして自動的に選ばれます。トーンを残しておきたいときは、他のトーンを選んでください。

9. [WRITE] ボタンを押します。

確認画面が表示されます。



実行するときは、[4] つまみを押します。

キャンセルするときは、[3] つまみを押します。

インポートが完了すると、「Completed」と表示されます。

※ 初めて SOUND PACK をインストールするときは、ユーザー・ライセンスの登録画面が表示されます。

※ 「Executing…」などと表示されて処理が継続しているときは、絶対に電源を切ったり、USB メモリーを抜いたりしないでください。

WAVE EXPANSION をインストールする (EXPANSION)

ダウンロードした WAVE EXPANSION ファイルを、追加音色として GM-800 にインストールすることができます。

1. インストールしたい WAVE EXPANSION の EXZ ファイルを USB メモリーのルート・ディレクトリーに保存して、GM-800 に接続します。

2. [MENU] → [USB MEMORY] を選びます。

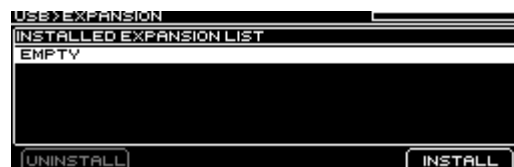


3. PAGE [◀] [▶] ボタンを押して、[EXPANSION] を表示させます。



4. [4] つまみを押します。

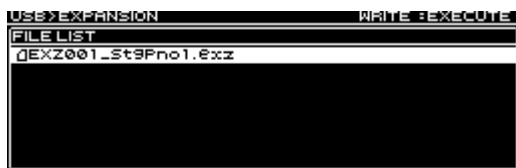
GM-800 にインストールされている WAVE EXPANSION のリストが表示されます。



※ 何もインストールされていない場合は「EMPTY」と表示されます。

5. [4] つまみを押します。

インストールするファイルの選択画面が表示されます。



6. [1] つまみを回してインストールするファイルを選びます。

7. [WRITE] ボタンを押します。

確認画面が表示されます。



※ 初めてインストールするときは、ユーザー・ライセンスの登録画面が表示されます。

実行するときは、[4] つまみを押します。

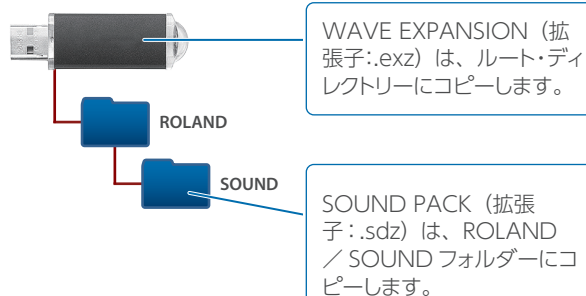
キャンセルするときは、[3] つまみを押します。

インストールが完了すると、「Completed」と表示されます。

※ 「Executing…」など表示されて処理が継続しているときは、絶対に電源を切ったり、USB メモリーを抜いたりしないでください。

※ インストールには数分かかる場合があります。

USB メモリーのフォルダー構成



外部 MIDI 機器を接続する

GM-800 では、外部に MIDI 機器を接続して次の操作をすることができます。

GM-800 からの操作

操作	説明
プログラム・チェンジ情報の出力	GM-800 でシーンを選ぶと同時に、SCENE MIDI で設定したプログラム・チェンジ情報、または選んだシーン・ナンバーに対応したプログラム・チェンジ情報を送信します。 外部 MIDI 機器を受信したプログラム・チェンジ情報に対応したセッティングに切り替えることができます。 詳しくは、『GM-800 パラメーター・ガイド』(Web) をご覧ください。
コントロール・チェンジ情報の出力	[CTL1] [CTL2] スイッチ、CTL3, 4/EXP 1 端子、CTL5, 6/EXP 2 端子に接続したフットスイッチやエクスプレッション・ペダル、ディバイデッド・ピックアップの [S1], [S2] ボタン、GK ボリュームの操作を、コントロール・チェンジ情報として出力します。 外部 MIDI 機器のパラメーター操作などができます。 詳しくは、『GM-800 パラメーター・ガイド』(Web) をご覧ください。
演奏情報の出力 (GUITAR TO MIDI)	ギター (ベース) の演奏情報を、ノート情報やベンド情報として送信します。 接続したシンセサイザー音源などを鳴らすことができます。 GUITAR TO MIDI をお使いになるには、ベンド情報などシーンごとに設定するパラメーターの他、GM-800 全体に作用するシステム・パラメーター (GUITAR TO MIDI On/Off) を ON に設定してください。 詳しくは、『GM-800 パラメーター・ガイド』(Web) をご覧ください。

外部 MIDI 機器からの操作

できること	説明
シーン・ナンバーの切り替え	外部 MIDI 機器からプログラム・チェンジ情報を受信します。 外部 MIDI 機器から GM-800 のシーンを切り替えることができます。 詳しくは、『GM-800 パラメーター・ガイド』(Web) をご覧ください。
コントロール・チェンジ情報の受信	外部 MIDI 機器からコントロール・チェンジ情報を受信します。 外部 MIDI 機器から GM-800 のパラメーターをコントロールすることができます。 詳しくは、『GM-800 パラメーター・ガイド』(Web) をご覧ください。
演奏情報の入力	外部 MIDI 機器からノート情報やベンド情報などの演奏情報を受信します。 GM-800 を外部音源機器として使うことができます。 MIDI SETTING の Note Source パラメーターを「MIDI」に設定してお使いください。 詳しくは、『GM-800 パラメーター・ガイド』(Web) をご覧ください。

主な仕様

外形寸法	246 (幅) × 134 (奥行) × 63 (高さ) mm ※ゴム足を除く 246 (幅) × 134 (奥行) × 65 (高さ) mm ※ゴム足を含む
質量 (AC アダプターを除く)	1.2kg
付属品	AC アダプター ゴム足×4 クイック・スタート 「安全上のご注意」チラシ 保証書
別売品	ディバイデッド・ピックアップ: GK-5 (ギター用)、GK-5B (ベース用) シリアル GK ケーブル: BGK-15 (4.5m)、BGK-30 (9m) GK コンバーター: GKC-DA、GKC-AD フットスイッチ: FS-5U、FS-5L、FS-6、FS-7 エクスプレッション・ペダル: EV-30、FV-500L、FV-500H、Roland EV-5 AC アダプター (お買い求めの際は、PSB-100 をご指定ください。)

※ 0dBu = 0.775Vrms

※ 本書は、発行時点での製品仕様を説明しています。最新情報についてはローランド・ホームページをご覧ください。

お問い合わせの窓口



ホームページをご覧ください

Roland製品

電子楽器製品 (電子ピアノ、電子ドラム、シンセサイザーなど)

https://roland.cm/roland_support



プロAV製品 (ビデオ・ミキサー、業務用映像音響機器など)

https://roland.cm/proav_support



BOSS製品

https://roland.cm/boss_support



01

